



株主の皆様へ

# 第102期 報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

 山陽特殊製鋼株式会社

証券コード | 5481



代表取締役社長  
武田 安夫

## Contents

株主の皆様へ	1
業績ハイライト	3
セグメント情報	4
連結財務諸表	5
トピックス	7
会社・株式情報	9

(注)本報告書に記載している業績予想につきましては、策定時点において入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第102期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の営業の概況等をご報告申し上げます。

## 営業の概況

当期のわが国経済は、円高の修正や政府の経済政策への期待を背景として、株価の上昇や企業収益の改善など、緩やかな回復基調で推移しました。また、世界経済も、新興国の一部に弱い動きがみられるものの、米国経済が比較的堅調に推移したことや欧州経済の持ち直しが明確になりつつあることなど、総じて緩やかな成長を続けました。

特殊鋼業界におきましては、前期に発生した尖閣問題に端を発した需要の停滞とそれに伴う大幅な在庫調整が収束に向かい、当期は自動車業界向けを中心に需要は順調な回復をみせました。

このような中、当社グループの当期の売上高は、販売数量が前期に比べ増加したことなどにより、前期比232億80百万円増の1,615億87百万円となりました。経常利益は、販売数量の増加やコストダウンの実施に注力したことに加え、人件費や減価償却費の減少などもありましたが、その一方で電力・燃料価格の上昇などもあり、前期比50億79百万円増の67億49百

万円となりました。当期純利益は、固定資産除売却損の減少などにより、前期比35億57百万円増の40億66百万円となりました。

なお、当期の配当につきましては、当期純利益が40億66百万円となったため、基本方針に則り年間では1株当たり5円とさせていただくことといたしました。中間配当金を1株当たり3円実施させていただいておりますので、期末配当金は1株当たり2円となります。

## 次期の見通し

今後のわが国経済につきましては、引き続き円高修正や企業心理の改善などにより、回復基調の継続が期待される一方で、政府の成長戦略の具体的な実施がまだこれから先となることや、新興国の経済成長鈍化や国際競争の激化、また、そのような環境下における、わが国の電力・燃料価格上昇懸念などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力するとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

以上を総合的に勘案し、次期の業績につきましては、売上高は1,700億円、経常利益は80億円、当期純利益は55億円を見込んでおります。

また、次期の配当につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、期間業績に応じた配当を実施してまいります。現時点では具体的な金額は未定とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

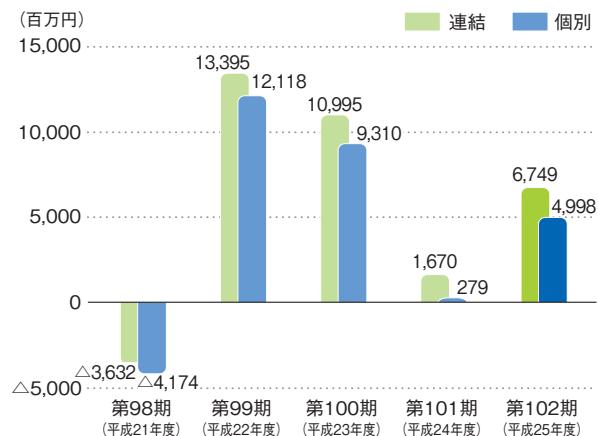
平成26年6月

# 業績ハイライト

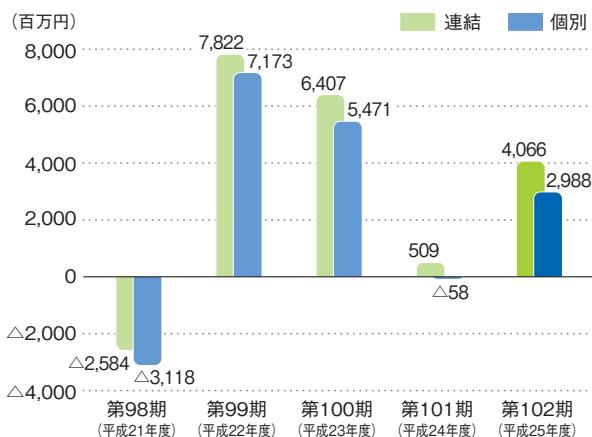
## 売上高



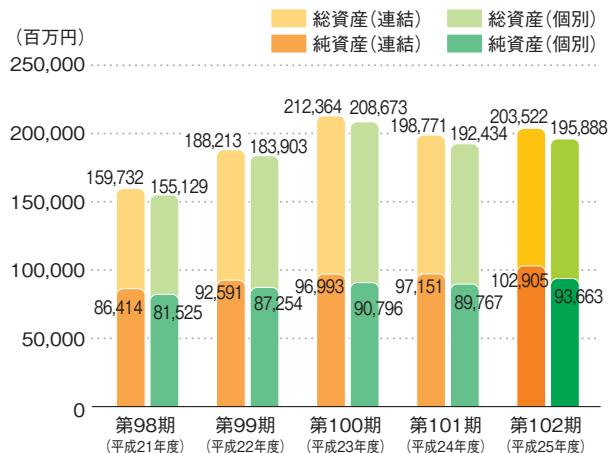
## 経常利益



## 純利益



## 総資産・純資産



# セグメント情報

## 鋼材事業

当期の売上高は、前期に発生した尖閣問題に端を發した需要の停滞とそれに伴う大幅な在庫調整からの回復が順調に進み、販売数量が前期に比べ増加したことなどにより、前期比191億75百万円増の1,444億78百万円となりました。営業利益は、販売数量の増加などもありましたが、電力・燃料価格の上昇などもあり、前期比44億22百万円増の41億45百万円となりました。

売上高

**1,444億78百万円**

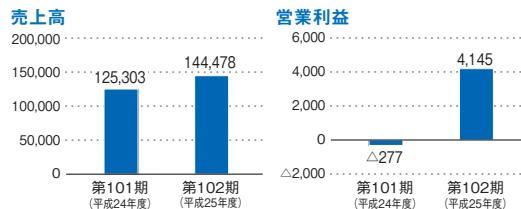
営業利益

**41億45百万円**

※各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

## 鋼材事業

(単位:百万円)



## 特殊材事業

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、当期の売上高は、前期比16億63百万円増の76億34百万円、営業利益は、前期比5億96百万円増の12億53百万円となりました。

売上高

**76億34百万円**

営業利益

**12億53百万円**

## 特殊材事業

(単位:百万円)



## 素形材事業

当期の売上高は、販売数量の増加などにより、前期比29億12百万円増の189億63百万円、営業利益は、前期比5億98百万円増の19億33百万円となりました。

売上高

**189億63百万円**

営業利益

**19億33百万円**

## 素形材事業

(単位:百万円)



## その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当期の売上高は、前期比1億円減の12億66百万円、営業利益は、前期比5百万円増の52百万円となりました。

売上高

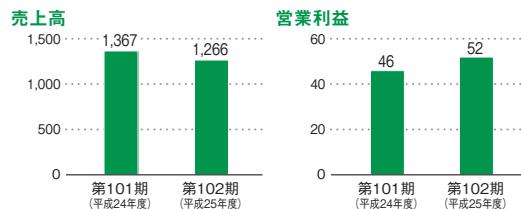
**12億66百万円**

営業利益

**52百万円**

## その他

(単位:百万円)



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

当連結会計年度末  
(平成26年3月31日)

科目	金額
<b>(資産の部)</b>	
流動資産	124,559
固定資産	78,962
<b>資産合計</b>	<b>203,522</b>
<b>(負債の部)</b>	
流動負債	73,283
固定負債	27,333
<b>負債合計</b>	<b>100,616</b>
<b>(純資産の部)</b>	
株主資本	99,053
その他の包括利益累計額	3,135
少数株主持分	715
<b>純資産合計</b>	<b>102,905</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>203,522</b>

(単位：百万円)

## 連結損益計算書

当連結会計年度  
自平成25年4月1日  
至平成26年3月31日

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>161,587</b>
売上原価	141,606
売上総利益	19,980
販売費及び一般管理費	13,096
<b>営業利益</b>	<b>6,883</b>
営業外収益	1,081
営業外費用	1,216
<b>経常利益</b>	<b>6,749</b>
特別利益	4
特別損失	199
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>6,553</b>
法人税等合計	2,369
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>4,184</b>
少数株主利益	118
<b>当期純利益</b>	<b>4,066</b>

(単位：百万円)

## 連結包括利益計算書

当連結会計年度  
自平成25年4月1日  
至平成26年3月31日

科目	金額
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>4,184</b>
<b>その他の包括利益</b>	
その他有価証券評価差額金	1,401
為替換算調整勘定	943
持分法適用会社に対する持分相当額	278
その他の包括利益合計	2,623
<b>包括利益</b>	<b>6,808</b>
<b>(内訳)</b>	
親会社株主に係る包括利益	6,597
少数株主に係る包括利益	210

(単位：百万円)

当連結会計年度  
(自平成25年4月1日  
至平成26年3月31日)

## 連結株主資本等変動計算書

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	20,182	22,596	54,474	△ 1,772	95,480	1,421	△ 263	—	1,158	512	97,151
当期変動額											
剰余金の配当			△ 483		△ 483						△ 483
当期純利益			4,066		4,066						4,066
自己株式の取得				△ 9	△ 9						△ 9
自己株式の処分		0		0	0						0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						1,401	1,129	△ 553	1,977	202	2,180
当期変動額合計	—	0	3,582	△ 9	3,573	1,401	1,129	△ 553	1,977	202	5,753
当期末残高	20,182	22,596	58,056	△ 1,781	99,053	2,823	865	△ 553	3,135	715	102,905

(単位：百万円)

## 連結キャッシュ・フロー計算書

当連結会計年度  
(自平成25年4月1日  
至平成26年3月31日)

科目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	309
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 841
現金及び現金同等物の期首残高	22,421
現金及び現金同等物の期末残高	21,579

(単位：百万円)

## 第9次中期経営計画（平成26～28年度）を策定

当社は、平成26～28年度を実行期間とする第9次中期経営計画を策定いたしました。

国際コスト競争力および非価格競争力を強化することで、グローバル競争に打ち勝てる企業体質の構築を図ります。また、鋼材事業の収益を増大するとともに、非鋼材事業へ積極的に経営資源を投入し、業容拡大することで、グループ全体の収益力強化を図ります。

さらに、あらゆる経済環境下で最善の収益を確保し得る、上下方とも弾力性のある、強靱な企業体質の構築を目指します。

### 経営基本方針

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による  
企業価値の増大と成長を目指して

- ◇ グローバル競争に打ち勝つための企業体質の更なる強化
- ◇ 技術先進性の拡大
- ◇ 鋼材事業の持続的成長と非鋼材事業の強化によるトータル収益力の向上

### 連結経営数値目標

	平成25年度(実績)
売上高	1,616億円
営業利益	69億円
経常利益	67億円
当期純利益	41億円
総資産	2,035億円
有利子負債(ネット)	478億円
R O S	4.2%
R O E	4.1%
減価償却費	110億円
E B I T D A	179億円
D / E レシオ	0.46
販売数量	8.7万トン/月



	平成28年度(計画)	増減
売上高	2,000億円	384億円
営業利益	150億円	81億円
経常利益	150億円	83億円
当期純利益	90億円	49億円
総資産	2,000億円	△35億円
有利子負債(ネット)	350億円	△128億円
R O S	7.5%	3.3%
R O E	7.5%	3.4%
減価償却費	100億円	△10億円
E B I T D A	250億円	71億円
D / E レシオ	0.30	0.16
販売数量	10万トン/月	1.3万トン/月

【主要前提】

・鉄スクラップ価格  
平成25年度第3四半期平均並  
(40千円/t)

・製品単価  
平成25年度第3四半期平均並

・為替  
100円/\$

## 重点施策

### 1 成長戦略の推進

#### (1) 鋼材事業

国内外でビジネスを展開する需要家のニーズを的確に把握し、非価格競争力のある製品を適切に供給することにより、需要家の競争力向上に貢献するとともに、当社グループの利益成長を図る。とりわけ成長著しい東アジアにおける有効かつ具体的なサプライチェーンを早期に確立する。

#### (2) 非鋼材事業

積極的に経営資源を投入し、売上規模を平成25年度比約1.6倍に拡大する。

### 2 グローバル競争力の強化

#### (1) 非価格競争力の強化

高機能な差別化商品や製造技術の開発および顧客潜在ニーズを先取りした的確・タイムリーな商品群の整備など、先の先を見据えた技術先進性の拡大を推進し、研究開発力・品質対応力・納期対応力・対ユーザー提案力を維持・拡大することで、需要家のニーズに応える。

また、最新の情報とIT技術を取り入れ、基盤業務システムの刷新を行う。

#### (2) 国際コスト競争力の強化

第8次中期経営計画に引き続き、コスト削減を粘り強く進める。また、省力化投資、コスト削減投資等により、下方弾力性を向上させる。

#### (3) 適正なマージンの確保

従来の鉄スクラップサーチャージ制度に加え、電力・LNG価格上昇分の販売価格への反映を図る。

### 3 持続的成長を実現するための人材育成

事業環境のグローバル化とそれに伴う国際競争の激化に対応し得る人材を計画的に育成する。

また、ワーク・ライフ・バランスの推進と女性社員が活躍できる環境づくり等の施策は引き続き実施する。

### 4 投資

戦略投資枠(主として研究開発、非鋼材セグメントの強化、東アジア等の海外投資 他)、基盤投資枠(主として品質対応、省力化投資、省エネ等コスト削減投資、システム基盤投資 他)、必須投資枠(主として老朽更新、安全環境対応、法規制対応 他)の3つの枠を設定し、各々100億円／3年を目処として実行する。

## 会社概要

平成26年3月31日現在

社名 山陽特殊製鋼株式会社  
英文社名 Sanyo Special Steel Co., Ltd.  
設立 昭和10年1月  
資本金 20,182百万円  
事業内容 鋼材事業、特殊材事業、素形材事業、その他  
本社・工場 姫路市飾磨区中島3007番地(〒672-8677)  
☎(079)235-6003(総務部)  
支社・支店・営業所 東京支社、大阪支店、名古屋支店、広島支店、九州営業所  
従業員数 連結2,775名、単体1,391名(就業人員)  
ホームページアドレス <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

## 役員

平成26年6月27日現在

代表取締役社長	武田安夫	取締役	永野和彦
取締役副社長	田中延幸	取締役	千葉貴世
常務取締役	富永真市	取締役	高橋幸三
常務取締役	柳谷彰彦	取締役	桑名隆
常務取締役	西濱渉	常任監査役(常勤)	木村弘明
常務取締役	榮山博之	監査役(常勤)	吉田敏彦
取締役	小林正治	監査役(常勤)	佐々木英之
取締役	大井茂博	監査役	加納駿亮
取締役	柳本勝	監査役	岩崎正樹
取締役	新野員也		

## 重要な子会社

平成26年3月31日現在

### 鋼材事業

連結子会社

- 陽鋼物産株式会社  
(特殊鋼製品、製鋼原料、諸資材などの売買)
- サントク精研株式会社  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山特工業株式会社  
(特殊鋼の加工、機械設備のメンテナンス)
- 山特テクノス株式会社  
(特殊鋼の加工)
- SKJ Metal Industries Co., Ltd.  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- P.T. SANYO SPECIAL STEEL INDONESIA  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山陽特殊鋼貿易(上海)有限公司  
(中国における特殊鋼製品の販売等に関する業務)
- Sanyo Special Steel India Pvt. Ltd.  
(インドにおける特殊鋼製品の販売等に関する業務)

持分法適用関連会社

- Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.  
(特殊鋼製品の製造・販売)

### 素形材事業

連結子会社

- サントクテック株式会社  
(特殊鋼製品の加工)
- SANYO SPECIAL STEEL U.S.A., INC.  
(特殊鋼製品などの輸入・販売)
- 寧波山陽特殊鋼製品有限公司  
(特殊鋼製品の加工・販売)

持分法適用関連会社

- Advanced Green Components, LLC  
(特殊鋼製品の加工)

### その他事業

連結子会社

- サントクコンピュータサービス株式会社  
(情報システム構築・運用・コンサルティング)
- サントク保障サービス株式会社  
(警備業、施設管理等のサービス業務)

## 株式の状況

平成26年3月31日現在

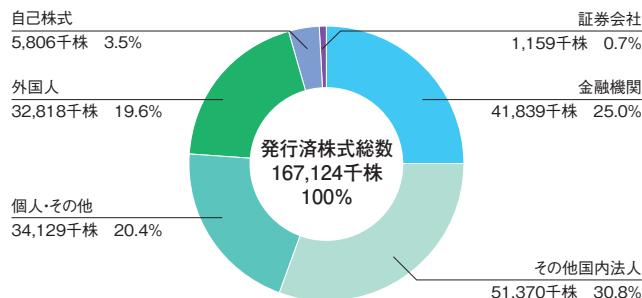
発行可能株式総数	474,392,000株
発行済株式総数	167,124,036株
株主数	15,705名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
新日鐵住金株式会社	24,256	15.13
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	11,151	6.96
山陽特殊製鋼共栄会	9,856	6.15
日本精工株式会社	7,470	4.66
株式会社三井住友銀行	5,696	3.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,467	3.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,099	2.56
JUNIPER	3,979	2.48
株式会社みずほ銀行	3,642	2.27
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,108	1.94

(注)当社は、自己株式5,806千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 株式の所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月下旬

同基準日 3月31日

配当の基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日

公告方法 電子公告  
【アドレス】 <http://www.sanyo-steel.co.jp/>  
事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、  
日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

〒540-8639  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

お問合せ先 【フリーダイヤル】0120-782-031

上場証券取引所 東京(証券コード 5481)

### 単元未満株式の買増・買取請求制度のご案内

当社には、1,000株未満の株式(単元未満株式)の買増・買取請求制度がございます。

詳細は、上記お問合せ先までお尋ねください。



**SANYO  
SPECIAL  
STEEL**